

人権啓発・教育映像ソフト(DVD)一覧

★人権推進多文化共生課（電話 740-1150 内線 2411・2412・2413）⇒一度の貸し出し個数は、**3作品**とし、貸し出し期間は、原則として**2週間**を限度とします。

■新しい作品は赤字で表記しています。

■予約や貸出の際にはNoとタイトルを伝えてください。

【令和8(2026)年4月現在】

No	タイトル	内容	ジャンル1	ジャンル2	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-030	鬼の子とゆきうさぎ (アニメーション)	鬼の子と人間の女の子ユキとの不思議な友情の中から、私たちが忘れかけているやさしさや、思いやりの心、家族のぬくもりが温かい感動として伝わってくる。	1	さまざまな人権	2007	22	○			人権推進 多文化共生 課
市-037	親愛なる、あなたへ ※字幕・副音声付き	地域社会の結びつきが弱まる中で起きている様々な人権問題。地域に関わる全ての人が、同じ社会の構成員として、よりよい暮らし作りを実践する地域社会を創造していくためにはどうすればよいか。一人ひとりの『気づき』こそが、互いに支え合う力が低下した地域の『再生』につながることを訴えるドラマ。	1	さまざまな人権	2008	37		○	○	人権推進 多文化共生 課
市-038	おくりびと ※日本語字幕付き	楽団の解散でチェロ奏者の夢をあきらめ、故郷の山形に帰ってきた大悟(本木雅弘)は好条件の求人広告を見つける。面接に向かうと社長の佐々木(山崎努)に即採用されるが、業務内容は遺体を棺に収める仕事。当初は戸惑っていた大悟だったが、さまざまな境遇の別れと向き合ううちに、納棺師の仕事に誇りを見いだしてゆく。	1	さまざまな人権	2008	131	○	○		人権推進 多文化共生 課
市-039	めぐみ	朝鮮国による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に朝鮮国当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。このアニメは、漫画「めぐみ」(原作・監修:横田滋・早紀江、作画:本そいち、出版社:双葉社)をモチーフとして制作しました。制作に当たっては、日本俳優連合の多大なご協力をいただき、また、声優の方々もボランティアで出演してくださっています。動画ファイルを無料でダウンロードできます。URL: https://www.rachi.go.jp/jp/megumi/index.html	1	さまざまな人権	2008	25				人権推進 多文化共生 課
市-050	「ただいま」 ～の声を聞くために～	Abducted by North Korea -Megumi, 13 years old- 大切に大切に育てた娘が、ある日、突然に消えてしまった。それからずっと、わが子を愛し続けて「家族のもとに返して」と叫ぶ、父と母の物語。 「めぐみは北朝鮮の工作船の暗い船底に閉じ込められ『お母さん、助けてお母さん』と壁をかきむしり、絶叫し続けて、暗い船を運ばれたといます。」横田早紀江	1	さまざまな人権	2009	33				人権推進 多文化共生 課
市-052	クリームパン ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、今一度、「いのち」について自分の問題として考えてもらうことを目的とする。	1	さまざまな人権	2010	36		○	○	人権推進 多文化共生 課
市-053	虹色のビー玉 「偏見」失いかけた家族の絆	小さな家族の絆の再生を描くことで、身近にある偏見や差別に目を向けてもらい、人権への理解を深めるとともに、誰もが幸福に暮らす権利があることを訴えるドラマ。	1	さまざまな人権	2010	50				人権推進 多文化共生 課
市-058	桃香の自由帳 ◎兵庫県人権啓発ビデオ	「人とのつながり」「きずな」を通して、一人ひとりが地域社会を担う一員であることを自覚し、人々との助け合い、支え合いについて、自分の問題として考えていく。	1	さまざまな人権	2011	36				人権推進 多文化共生 課
市-059	虹のきずな (アニメーション)	大学生のひかりは図書館で絵本の読み聞かせボランティアをしているが、そこにはいつも独りぼっちでいる中国人の男の子がいた…。傍観者でいることがいじめを助長することにもなりかねないことや人の気持ちに寄り添うことの大切さを訴えた立体アニメーション作品です。いじめを解決するための勇気ある一歩について考えさせてくれます。 主人公が絵本を読むと劇中劇となる構成であり、「絵本の劇中劇」のみを教材として用いることも可能な作品となっています。 ◎北九州市保健福祉局 人権推進センター人権文化推進課	1	さまざまな人権	2011	31				人権推進 多文化共生 課
市-060	ほんとの空 ◎兵庫県人権啓発ビデオ	近隣に高齢者や障がい者、外国人が多く住んでいることに不安とイライラを募らせる弓枝。ある日、息子に友だちができたのだが、彼は福島からの被災者だった…。誤った偏見に自分から気づくことの大切さを問う。	1	さまざまな人権	2012	36	○	○	○	人権推進 多文化共生 課

No	タイトル	内容	ジャンル1	ジャンル2	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-061	マザーズ ハンド ～お母さんの仕事～	家族とは何か？人権とは何か？差別とは何か？ある家族の姿を描くことで、身近にある偏見や差別に目を向け、人権への理解を深めるとともに、誰もが幸福に生きていく権利を持っていることを知ってもらうために製作された作品。	1	さまざまな人権	2012	19	○	○		人権推進 多文化共生課
市-067	ヒーロー ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	近年、社会から孤立する人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっている。家族や地域、職場でのつながり、つまりは血縁や地縁、社縁の希薄化によって引き起こされる問題である。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、何ができるのかを提起する。また、「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権課題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを考える。	1	さまざまな人権	2013	34		○	○	人権推進 多文化共生課
市-068	イマジネーション 想う つながる 一歩ふみだす	いじめ問題、同和問題、発達障がいに関することを収録。まず「想像」すること、相手のことを知ること、想うこと。そこから人と人とのつながっていく。あなたは、イマジネーションできていますか？	1	さまざまな人権	2013	34	○			人権推進 多文化共生課
市-069	誇り 一差別といじめは越えられるー	震災と津波…。そして更に原発事故と風評被害が福島県を襲いました。それは、風評被害と言う名の差別や偏見、いじめだとも言えます。情報に振り回され、真実を見ない…。その姿は差別や偏見を生み出す人々の心のしくみを象徴しています。本作品は、福島県の人々が経験した事実をもとに、差別やいじめを考えるものです。	1	さまざまな人権	2013	30				人権推進 多文化共生課
市-070	いのちをいただく	デジタル紙芝居 子どもにもおとなにも見て欲しい…。 「いただく」という感謝の気持ちから、いのちの尊さ、人を敬う気持ちが生まれる。 人は毎日、命を「いただいで」生きている!!「いただきます」、その本当の意味がわかる!!心から「いただきます」が言えるようになる!!	1	さまざまな人権	2013	20		○		人権推進 多文化共生課
市-072	みんな生きている	東日本大震災から三年が経過しました。多くの人々が受けた心の傷…。時間の経過とともに、被災の記憶が風化されていく中、いま、心の見守り、手当は十分と言えるでしょうか。被災地に限らず、心に傷を抱えた人々、ケアする人々、すべての人々に求められる回復への問い。それは何なのか…。その問いから生まれた作品です。 三年が経過した被災地、福島県浜通りを舞台に心の回復と再生を描いた短編映画です。	1	さまざまな人権	2014	30				人権推進 多文化共生課
市-073	カラフル Colorful	このビデオは、両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取りあげる。 収録テーマは、他人の噂、子どもの結婚、多様性を認める社会へ、LGBT。	1	さまざまな人権	2014	31				人権推進 多文化共生課
市-074	未来を拓く5つの扉 ※字幕・副音声付き	～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～ 全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介します。	1	さまざまな人権	2014	46		○	○	人権推進 多文化共生課
市-080	すべての人々の幸せを願って	国際連合創設70周年記念 ～国際的視点から考える人権～ 世界人権宣言と国際人権諸条約が自分達の身近にある人権とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、女性、子ども、障がいのある人、外国人の人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。	1	さまざまな人権	2015	35				人権推進 多文化共生課
市-086	光射す空へ (アニメーション)	若年性認知症、同和問題、セクシュアル・マイノリティの問題に触れながら、大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描く。	1	さまざまな人権	2016	46				人権推進 多文化共生課
市-091	わたしたちが伝えたい、大切なこと (アニメーション)	日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描く。全国中学生人権作文コンテスト入賞作品を原作とした、アニメーションの3本立て。 「差別のない世界へ」(人種による偏見や差別)…中学生である主人公が、自らの経験を通して差別される側の心の痛みを知り、父の言葉を思い起して差別に立ち向かう勇気を得る経緯を描きます。(8分) 「手伝えることはありませんか」…事故で右手を失った父に対して「なんでもやってみよう」と考えた主人公ですが、実際の父との暮らしのなかでやがて大事なことに気づきます。(7分) 「共に生きるということ」…主人公が、人権学習の講師として来た視覚障害のある小林さんの言葉を聞くことで、自分が今まで持っていた障害のある人=弱者という考え方が変わっていく過程を描きます。(7分) 「審査委員長(落合恵子)からのメッセージ」(8分)	1	さまざまな人権	2017	31				人権推進 多文化共生課
市-099	こんばんはII 夜間中学ドキュメンタリー映画	15年前に完成した森康行監督(68)のドキュメンタリー映画「こんばんは」(92分)の特別版。公立の夜間中学は現在、8都府県に31校しかないが、各地で新設が検討されている。支援者は「公立夜間中学を全国に増やす力にしたい」と意気込んでいる。 【監督】森康行【ナレーター】大竹しのぶ【制作】夜間中学校と教育を語る会	1	さまざまな人権	2018	37				人権推進 多文化共生課

No	タイトル	内容	ジャンル	ジャンル2	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-105	シェアしてみたらかったこと ※字幕・副音声付き	東京のどこかにあるシェアハウス。ここには、年齢も社会的立場も異なる人たちが、同じ屋根の下暮らしている。上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち。この住人たちとの交流は戸惑いの連続だけど、時間、空間、思いをシェアして、初めて気づくこともある。私が、シェアしてみたらかったこと。	1	さまざまな人権	2019	46				人権推進 多文化共生課
市-128	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重する事が求められています。 本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育啓発推進センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取り組みを進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。 ロングバージョン(35分52秒) ショートバージョン(13分27秒)	1	さまざまな人権	2022	L約35 S約12				人権推進 多文化共生課
市-129	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重する事が求められています。 本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育啓発推進センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取り組みを進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。 ロングバージョン(35分52秒) ショートバージョン(13分27秒)	1	さまざまな人権	2022	L約35 S約12				人権推進 多文化共生課
市-137	言葉があるから… —無自覚の差別「マイクロアグレッション」— ※字幕・副音声付き	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。 自覚なく加害者にならないために……。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。解説書・ワークシートあり	1	さまざまな人権	2023	31	○	○	○	人権推進 多文化共生課
市-150	見上げれば ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	【テーマ】「社会におけるひきこもりと人権～誰もが支え合える社会の実現をめざして～」 【作品内容】ひきこもりの背景や状態は人それぞれですが、長期化すると社会や人に対する恐怖感が強まり、本人や家族の人生に深刻な影響を与えます。就職・再就職の難しさ、家族もどうしているかわからず心身が疲弊するなど、その苦悩は計り知れません。さらに、地域社会との関わりが乏しく存在が見えづらいため、家族だけで悩みを抱え込む現実があります。 このドラマでは、できるだけ早い段階で適切な支援につながることの重要性、信頼できる他者とのつながりや、寄り添ってくれる人のいる「居場所」が回復のきっかけになることを伝えます。どのような状況の人にも、寄り添い合い、誰もが支え合える社会の実現をめざし、人権啓発ドラマを制作しました。【出演者】日野友輔、中山忍、中山侑悟、海斗、柴田理恵 ほか	1	さまざまな人権	2025	34		○	○	人権推進 多文化共生課
市-031	風の人になりたい 岡本工介～アメリカ編～	ぶらく新世代シリーズ グローカルに生きるVol.1【ロケ地】サウスダコタ/ジョージア/アラバマ/テネシー/大阪 環境教育プランナー岡本工介の1ヶ月1万kmに及ぶアメリカの旅に密着し、子どもたちの教育に人生をかけることを決意する姿を描く。	2	部落問題	2007	37				人権推進 多文化共生課
市-032	差別意識の解消に向けて (1)人権のまちづくり	今、同和地区内外の人たちが生活現場で手を取り合い、差別の解消に向けて、「人権のまちづくり」に取り組んでいる。差別や偏見を乗り越えながら、同和地区への忌避意識を解消していく、人権のまちづくりが展開されている。	2	部落問題	2007	29				人権推進 多文化共生課
市-033	差別意識の解消に向けて 土地差別問題を考える ※DVD-R	大阪府内で実際にあった宅地建物取引での差別事象をドラマで再現。住民や業者から、購入予定の不動産の所在地が同和地区かどうかの問合せを受けたときの対応例を紹介し、行政職員として、どのように対応すべきかを、自分自身の問題として考えさせる。	2	部落問題	2007	24				人権推進 多文化共生課
市-040	同和問題と人権 —あなたはどのように考えますか— (アニメーション)	同和問題は一体どのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、何故なくなるらないのか。同和問題を正しく理解し、同和問題を解決するためにはどうすればよいのか。	2	部落問題	2008	28				人権推進 多文化共生課
市-054	私の中の差別意識 ～部落差別問題から考える～	ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのかを考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。	2	部落問題	2010	24	○			人権推進 多文化共生課
市-062	部落解放運動の歩み 人間は尊敬すべきもの	部落解放運動の歩みを戦前編、戦後編Ⅰ、戦後編Ⅱの3部作として構成して、分かりやすく解説する。部落問題の入門的な教材として学校、市民啓発、企業研修、市民活動、解放運動など多様な場で使える。	2	部落問題	2012	60	○			人権推進 多文化共生課
市-075	あなたに伝えたいこと ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	同和問題は、地域改善対策の結果、生活環境などハード面の改善は進んだが、結婚差別や身元調査など、意識の面では依然として課題が残されている。また、インターネットには、利便性とともに、差別的な書き込みやネット依存など陰の部分もある。 この物語の主人公は、結婚話を発端に、恋人や友人、家族などとの関わりから、同和問題が身近な問題であることを知る。ネット上の情報に左右されることなく人とふれあい、お互いを正しく知ることが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝える。	2	部落問題	2014	36	○	○	○	人権推進 多文化共生課

No	タイトル	内容	ジャンル	ジャンル2	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-076	同和問題 ①～過去からの証言、未来への提言～ ②同和問題 未来に向けて	人権アーカイブ・シリーズ ①は、人権教育、啓発担当者向け。証言集付き。②は、一般向け。活用の手引付き この教材は、我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、一般市民を対象とした、啓発現場においても使用できる有効なツールとしての映像も併せて制作し、同和問題の解決のために次世代へ伝承することを目的としています。(法務省ホームページより)	2	部落問題	2014	①61 ②19	○	○	○	人権推進 多文化共生 課
市-106	ネット差別を許すな! —川口泰司— ※字幕版付き	部落の心を伝えたい シリーズ第32巻 今、ネット空間を主戦場に部落差別が展開。差別情報の拡散、「部落地名総鑑」公開など、「ネットを悪用した部落差別」の現実を解説。何が問題で、どう解決するのか、道筋を示す。	2	部落問題	2019	28	○	○	○	人権推進 多文化共生 課
市-107	映像で学ぶ 部落差別解消推進法	大阪人権博物館部落問題学習シリーズ ①「部落差別解消推進法」の制定と部落差別の現在(15分) 赤井隆史(部落解放同盟大阪府連合会委員長) ②「部落差別解消推進法」の法的意義と活用方法(15分) 丹羽雅雄(たんぼ法律事務所 弁護士) ③「部落差別解消推進法」の条例化と私たちの役割(15分) 加藤真司(兵庫県たつの市市民生活部人権推進課長)	2	部落問題	2019	45	○			人権推進 多文化共生 課
市-108	調べられた土地 避けられた地域 ～土地差別調査の根絶に向けて～ ※CD-R	土地差別調査が差別が差別を生み出す再生産のシステムとして機能してきたことを重視し、その根絶に向けた啓発教材として制作。調査会社や広告代理店、宅建業者でのやりとりをもとにイメージ再現。	2	部落問題	2011	20	○			人権推進 多文化共生 課
市-131	破戒	島崎藤村、不朽の名作「破戒」を60年ぶりに映画化 主演・丑松役は間宮祥太郎、相手役に石井杏奈。 【あらすじ】瀬川丑松(間宮祥太郎)は、自分が被差別部落出身ということを知り、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱しつつも、下宿先の士族出身の女性・志保(石井杏奈)との恋に心を焦がしていた。友人の同僚教師・銀之助(矢本悠馬)の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、丑松の立場は危ういものになっていく。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎(眞島秀和)に傾倒していく。猪子宛に手紙を書いたところ、思いがけず猪子と対面する機会を得るが、丑松は猪子にすら、自分の出自を告白することができなかった。そんな中、猪子の演説会が開かれる。丑松は、「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を覚えるが、猪子は演説後、政敵の放った暴漢に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。	2	部落問題	2022	119				人権推進 多文化共生 課
市-138	大切なひと ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	「ネット社会における部落差別と人権 ～誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして～」 この物語の主人公・愛依は、学友の大哉がインターネットに投稿する動画が、被差別部落について差別的であることに気づきながらも言い出せずにいました。幼少期に可愛がってもらった綾女の住居が動画内において差別を助長する内容で晒されたことをきっかけに、愛依は動画を削除するよう告げ、過去に綾女にしてしまった差別につながるような自らの過ちとも向き合います。	2	部落問題	2023	34		○	○	人権推進 多文化共生 課
市-151	寝た子を起す ～古田圭策(ゴン)～ ※字幕版付き	部落の心を伝えたいシリーズ番外編 部落差別をなくすために小学校教員になった古田圭策(67)さん。人権啓発研修講師として今、エネルギーな講演を各地で続けている。 「教えなければ部落差別は自然となくなるはず」…そんな根強く残る“寝た子を起す論”を自らのリアルな体験をもとに徹底的に反証する。	2	部落問題	2025	28		○	○	人権推進 多文化共生 課
市-152	いつの間にか拡散 ネットに潜む部落差別 (中学生以上・一般向け)	シリーズ・人権を考える 近年では、情報化社会の進展により私たちの生活は大きく変化し、それに伴い差別の形態も変わってきました。インターネット上では、電子掲示板やSNS、動画投稿サイトなどにおいて、プライバシーの侵害や名誉棄損、差別的な書き込みなどが全国的に発生しています。部落差別(同和問題)に関しては、SNSで「〇〇地区は、同和問題-被差別部落である」と書き込んだり、動画投稿サイトでは、特定の地域を撮影した動画に「ここは被差別部落であった」という旨のテロップやナレーションを入れて公開したりする行為が増えて、大きな社会問題となっています。そこでこの作品では、インターネットに潜む差別意識を解消するにはどのような対策を講じるべきかを示し、部落差別に負けない力をつける必要性を訴えていきます。 監修 一班社団法人山口県人権啓発センター事務局長 川口泰司	2	部落問題	2024	21				人権推進 多文化共生 課
市-009	負けるな!千太 —さよならいじめ虫— (アニメーション)	命とは?人間とは?いじめとは?素直な心でいじめを考えるある夏の物語。ある日、クラスの体の弱い女の子がいじめグループのターゲットになり、やがて同じクラスの千太が、このいじめを先生に告げ口したという噂が広がり、いじめの矛先は千太へと向けられる。	3	子どもの人権	1996	24	○			人権推進 多文化共生 課
市-016	きみがたいせつ 子どもオンズパーソンからのメッセージ	子どもオンズパーソンは、子どもを擁護し代弁する公的第三者機関である。さまざまな現状の子どもに寄り添い、子どもを支援する立場から、子どもの最善の利益を追い求めていく。その活動の様子を子どもたちやおとなたちに伝える。	3	子どもの人権	2001	35				人権推進 多文化共生 課
市-019	ハードル (アニメーション) ※劇場用映画	長編アニメーション映画。いじめを乗り越え、たくましく成長する子どもたちを描いた感動の物語。 横浜に暮らす有沢麗音(レオン)は、小学6年生のある日クラスメートの万引きを目撃してしまいます。中学受験を控え、心にストレスを抱えている時でした。しかしある理由から麗音は犯人と誤解されます。大人たちの態度に麗音は深く傷つきますが、友人と文房具店のおばあさんの言葉に救われ、心の輝きを取り戻します。やがて中学生になった麗音は…。	3	子どもの人権	2004	84				人権推進 多文化共生 課
市-041	こころに咲く花 ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	学校や地域でのいじめ、職場でのパワハラ、セクハラが人権侵害として大きな社会問題になっている。いじめは、決して他人事ではなく、「私」「自分」の問題である。いじめに関して、みな何らかの形で加害者、被害者、観衆、傍観者の立場に立つ。 ここでは、いじめ構造の中で多数を占める傍観者、観衆たちが一歩踏み出して、勇気をもって声を発すれば、必ずいじめの解決につながることを訴えかけてくる。	3	子どもの人権	2008	35		○	○	人権推進 多文化共生 課

No	タイトル	内容	ジャンル1	ジャンル2	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-051	起こる前に考える 子ども虐待	「子ども虐待」防止の入門教材 「児童虐待」を子育ての現場を通して多面的に捉え、わかりやすく解説。虐待の実情や起こってしまう背景を探り、虐待を防ぐための対策を考えていく。	3	子どもの人権	2009	39				人権推進 多文化共生課
市-081	人権学習ドラマ ありったけの勇氣	子どもたちは「いじめは良くない・悪いことだ」と心の中では思っている、「自分がいじめられるのでは?」という不安から、いじめる側に回ったり、見て見ないふりをしてしまうのではないのでしょうか。このドラマでは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互い認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇氣の大切さを伝えます。	3	子どもの人権	2015	27		○		人権推進 多文化共生課
市-109	君が、いるから ◎兵庫県人権啓発ビデオ	この作品は、母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通して、新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描いています。 子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人との関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす内容となっています。 令和元年度優秀映像教材選奨 最優秀作品賞(文部科学大臣賞)、映文連アワード優秀作品賞(準グランプリ)受賞、文部科学省選定作品	3	子どもの人権	2019	33		○	○	人権推進 多文化共生課
市-110	ずっと助けてと叫んでた 人権啓発ドキュメンタリーDVD	ほしおか十色三の手記と支援者の証言で知る性的虐待被害者の苦悩 第1部 ずっと助けてと叫んでた(37分) プロローグ ほしおか虹色 1.家庭内性的虐待 2.自傷行為と依存症 3.性暴力被害者と性ビジネス 4.母の死と薬物依存 5.回復への長い道 エピローグ 第2部 助けてと言えない子どもたちのために(26分)	3	子どもの人権	2019	63				人権推進 多文化共生課
市-122	夕焼け ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	今回の作品のテーマは、「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」です。 相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をするには、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは、学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過ごされることが多いという問題があります。	3	子どもの人権	2021	35		○	○	人権推進 多文化共生課
市-139	あなたは大丈夫? 考えよう!いじめ ～一人で悩まず相談しよう～	【企画制作】法務省人権擁護局・(公財)人権教育啓発推進センター [小学生編・中学生編] 現在では、小中学生の多くがスマートフォンを持っていることから、メッセージアプリやSNSを使いたいじめなどのトラブルが多く起きています。いじめをなくすにはどうしたらよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに学んでいきます。プロローグ 小学生編(本編・解説) 中学生編(本編・解説) エピローグ	3	子どもの人権	2023	16	○	日本語字幕 ○	○	人権推進 多文化共生課
市-140	あなたは大丈夫? 考えよう!児童虐待 ※字幕・副音声付き	児童虐待のさまざまな事例について、こどもパートはオウムのカイくんが、大人パートは法務局職員が各エピソードを解説します。 事例1:心理的虐待1 事例2:心理的虐待2 事例3:心理的虐待3 事例4:心理的虐待4 事例5:身体的虐待 事例6:ネグレクト1 事例7:ネグレクト2 事例8:性的虐待 事例9:ネグレクト-宗教活動に関する虐待 エピローグ:オウムのカイくん(こどもパート)、法務局職員(大人パート)が相談窓口を案内します。	3	子どもの人権	2023	33		○	○	人権推進 多文化共生課
市-144	あなたのいる庭 ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	テーマ「社会におけるこどもの人権～こどもが安心して暮らせる社会の実現をめざして～」 社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らせず、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしているこどもたち、そして社会的養護下から自立したが、家族からのサポートを得られずに生きる人たち(ケアリーパー)がいます。社会的養護の現状や実態を知る人は少なく、世間からの無理解と偏見にさらされ、居場所を見い出せず、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。次代の社会を担うこどもたちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えなければなりません。「こども人権」について改めて考え、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的とした人権啓発ドラマ。 【あらすじ】阪神・淡路大震災で夫と幼い娘を亡くし、心を閉ざしたまま生きる主人公・和佳奈の唯一の拠り所は、自宅の庭で花や野菜を育てること。だがある日、大切に育てていたトマトの芽が何者かに踏みつけられていた。誤って庭に入ってしまったと謝罪に訪れたのは、児童養護施設・のじき園で暮らす実結(16)と怜央(9)。実結は自分たちが植えた土を申し出るが、和佳奈はそれを突き放す。しばらくして偶然再会した実結と和佳奈。あの日の自分の態度を気にしていた和佳奈は、実結に「トマトの種を植えた土を手伝って」と声をかける。	3	子どもの人権	2024	35		○	○	人権推進 多文化共生課
市-023	体験!発見!チャレンジ・ストーリー ～まちづくりにかける元気な女性たち～	コミュニティ・ショップの夢にチャレンジ!(29分)滋賀県栗東市…NPO法人『びいめ～企画室』 歴史ある街並みを蘇らせる女性たち!(29分)熊本県宇城氏…「風の会」 “人”と“気持ち”をつなげたい!(29分)京都市舞鶴市…NPO法人『舞鶴市女性センターネットワークの会』	4	女性の人権 (ジェンダー平等)	2006	90				人権推進 多文化共生課
市-034	夢へのパスポート ～まちづくりにかける元気な女性たち～	地域を活性化している元気な女性の活動3例と、その活動を支援するために内閣府が派遣したアドバイザーの取り組みを紹介。 ◆子育てNo.1の街を作りたい!◆地元の伝統食を現代に発信したい!◆団塊世代が“元気”を生み出す街にしたい!	4	女性の人権 (ジェンダー平等)	2007	87	○			人権推進 多文化共生課
市-042	配偶者からの暴力の根絶を目指して ～配偶者暴力防止法のしくみ～	配偶者からの暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権損害です。配偶者からの暴力は、あなたの身近なところで起きています。「配偶者暴力防止法」は平成13年に制定され、平成19年7月に保護命令の拡充や市町村の取組の強化を柱とした改正法が成立し、平成20年1月の施工されました。このDVD、配偶者からの暴力の根絶を目指して、「配偶者暴力防止法」のしくみ等についてわかりやすく紹介しています。 ◎男女共同参画局制作	4	女性の人権 (ジェンダー平等)	2008	35				人権推進 多文化共生課
市-071	私らしくマイノリティを生きる 女性差別撤廃条約のいま ※中学生以上対象	セクシュアルマイノリティ、シングルマザーなど複合的な差別を乗り越えようとする当事者たちのインタビューとともに、部落、沖縄、アイヌ、在日コリアン、移住女性などマイノリティ女性たちがニュー YORKの女性差別撤廃委員会では実態を訴えたときの様子、日本国内にはいまだに条約の趣旨に違反する法律が残されていることなど女性差別撤廃条約を実現する上での課題が学べるものとなっている。	4	女性の人権 (ジェンダー平等)	2013	20				人権推進 多文化共生課

No	タイトル	内容	ジャンル	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管	
市-100	あした 咲く ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付	女性が輝く社会の実現に向けて、平成27年8月の「女性活躍推進法」成立をはじめ、これまで様々な取り組みが進められてきました。しかし、現状は、職場や地域における女性の能力発揮のための環境整備や意識改革は必ずしも十分ではありません。また、ドメスティック・バイオレンスやハラスメントなどの女性に対する人権侵害も生じています。この作品は、それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えている生き方の異なる姉妹が登場し、姉妹の対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づき、自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろんすべての人が輝ける社会の実現をめざす内容となっています。	4	女性の人権(ジェンダー平等)	2018	36		○	○	人権推進 多文化共生課
市-141	あなたは大丈夫？ 考えよう!デートDV	【企画制作】法務省人権擁護局・(公財)人権教育啓発推進センター 「デートDV」に関する3つの事例紹介の後に、事例解説・ディスカッションが入ります。 事例1:それは愛か、束縛か? 事例2:お金を出すのが愛なのか? 事例3:キスしなくちゃいけないの? ※法務省委託 令和5年度人権啓発教材	4	女性の人権(ジェンダー平等)	2023	30		○	○	人権推進 多文化共生課
市-024	アイムヒア 僕はここにいる ◎大阪府人権啓発ドラマ	知的には遅れはないものの、発達がアンバランスなために学校や社会の中で生きにくさを感じ、苦しんでいる”発達障害”の人たちのことを理解するとともに、どんな支援が必要であるかをまなび、すべての人権が尊重される豊かな社会の実現について考えるきっかけとします。	5	障がいのある人の人権	2006	54				人権推進 多文化共生課
市-063	あだちファクトリー物語 企業内授産で障害のある人の雇用促進を	障がいの者雇用への新たな挑戦「企業内授産」。それは企業にとっても障がいのある人にとっても、たくさんのメリットがあります。私たちの願いは、働くことで生きがいを得て自立すること。だから今日も、みんな企業内授産施設でがんばっている。ー ◎東京都地域中小企業応援ファンド地域資源活用イノベーション創出助成事業	5	障がいのある人の人権	2012	49				人権推進 多文化共生課
市-077	秋桜 -コスモス- の咲く日 ※字幕・副音声付き	◎北九州市人権啓発映画 北九州市企画作品。この映画は、「目に見えにくい違い」の一つとして発達障がいを取りあげています。発達障がいのある人の生きづらさ痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々に重ね、「ともに生きることの喜び」を伝える。	5	障がいのある人の人権	2014	34				人権推進 多文化共生課
市-087	風の匂い ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	「障がいのある人の人権～共に生きることのよここび～」をテーマに、知的障がいがある幼なじみの友人との再会から、青年となった二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れ、自分自身の問題として考えるきっかけとなる人権啓発ビデオ。	5	障がいのある人の人権	2016	34		○	○	人権推進 多文化共生課
市-101	心のバリアフリーをめざして ～合理的配慮と職場のコミュニケーション～	このDVDでは、実際に障がいのある方に出演してもらい、ご自身が経験したケースを通じて、周囲が気を付けるべき配慮について学ぶことができます。	5	障がいのある人の人権	2018	35		○	○	人権推進 多文化共生課
市-102	できることから始めよう。 みんなの声かけ運動 ～下肢に障害のある方への声かけ～	困っている人がいたら勇気を出して、声をかけましょう!「お手伝いしましょうか?」兵庫県では、だれもが地域社会の一員として支えあうなかで、安心して暮らし、元気に活動できる「ユニバーサル社会」の実現を目指しています。その一環として、障害のある方、高齢者、妊婦、小さな子ども連れの方をはじめ、だれもがまちなかで困っているときに、みんなが声をかけて助けあおうという「みんなの声かけ運動」を展開しています。下肢障がい当事者が中心になって、健常者や妊婦、視覚障がい者、聴覚障がい者、動画制作関係者など、多様な主体とともに映像を制作するサポートを行いました。また、打ち合わせや撮影を通じて、障がいのある方と健常者がともに過ごす時間をつくることで、表面的な声かけの知識におわらず、それぞれが同じ凸凹のある社会の一員と体感できる場となるよう努めました。	5	障がいのある人の人権	2018					人権推進 多文化共生課
市-103	障害のある人と人権 ～誰もが住みよい社会をつくるために～	障がいのある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組みなどを紹介し、「障がいのある人と人権」について考えていきます。	5	障がいのある人の人権	2018	33		○	○	人権推進 多文化共生課
市-111	共に働くための合理的配慮 ※字幕あり	本作は、障害に関係なく、誰もが職業を通じて社会参加できる『共生社会』の実現を目指し、合理的配慮について学んでいきます。障害別に、その障害の特性と、合理的配慮の具体例を紹介。また障害のある方にとっての合理的配慮とは何か?障害のある方自身の言葉を通して、紙面などでは伝わらない合理的配慮のありかたを考えていきます。そして障害者雇用に積極的に取り組んでいる企業の合理的配慮の実践例を見てゆくことで、合理的配慮の考え方や進め方の参考となる内容です。 24分とインタビュー集9分 監修:金子 雅臣(一般社団法人職場のハラスメント研究所代表理事)	5	障がいのある人の人権	2019	33		○		人権推進 多文化共生課
市-147	知りたいあなたのこと3 聞こえない人の生活・気持ち	私たちは、「音のない世界」を一体どこまで想像できているのでしょうか?耳の聞こえない・聞こえにくい方々は、人知れず不安や困りごとを抱えながら生活を送っています。ですが、彼らは障がいを持っていることが周囲から分かりにくいため、困っていても周囲にはなかなか伝わりません。この作品では、1人の難聴の方を中心に取材しました。彼らは、一体どんな場面で困っているのか?どんな配慮が求められているのか?この作品は、聴覚に障がいを持つ方々の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。	5	障がいのある人の人権	2022	21		○	日本語 英語 中国語	人権推進 多文化共生課
市-001	対馬丸 ～さようなら沖繩～	昭和19年夏、太平洋戦争が激しくなると、日本軍は本土決戦に備え、沖繩のこどもたちを学童疎開させる命令を出しました。疎開船「対馬丸」と主人公キヨシの運命は・・・。	6	平和関係	1982	75		○		人権推進 多文化共生課

No	タイトル	内容	ジャンル	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-002	おこりじぞう (アニメーション)	広島に原爆が落とされた昭和20年の夏、水をほしがるひろちゃんの口元、おじぞうさんの目からポロポロと涙がこぼれ出す。核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝える。	平和関係	1983	28	○			人権推進 多文化共生課
市-003	100ばんめのサル (アニメーション)	世界が核の問題に熱い視線を向ける今日、恐怖と危険がいっぱいの地球を救えるきっかけとは---「100ばんめのサル」!?物事や文化は、この「99番目」までは、少しずつ着実な拡大の形態を取り、「100番目」(臨界点)に達したときに、爆発的に拡大をする。ここに世界平和、核廃絶へのヒントが隠されているのではないだろうか。	平和関係	1986	17	○			人権推進 多文化共生課
市-005	学ぼうヒロシマ	中国新聞社制作の中学・高校生向けの被爆70年・被爆証言などを収めた平和学習DVD。内容は「記憶を受け継ぐ」、「平和をになうのは私たち」、「1945 原爆と中国新聞」の3本立て。 (「1945原爆と中国新聞」2012年5月制作ダイジェスト版)	平和関係	2015	76				人権推進 多文化共生課
市-006	ぞう列車がやってきた (アニメーション) ※通常版	戦争から象を守り抜いた人々の優しさと勇気を子どもたちの視点から描くとともに、夢も希望もなくなった戦後、「象を見たい」「象に会いたい」という東京の子どもたちが、平和の象徴として「ぞう列車」を走らせるまでを描く長編アニメーション。 【ものがたり】ポッポちゃん(5才)のお父さんは、名古屋の東山動物園の園長さんです。ポッポちゃんは、毎日サブちゃん(5年生)といっしょに動物園をぐるぐる回ります。動物園の動物は、みんなポッポちゃんとサブちゃんの友だちです。その頃、日本は、アメリカ・イギリスなど世界中の国を相手に戦争をしていました。でも動物園にはまだたくさん動物がいました。その中でも一番の人気者は増えます。増の櫛の周りはいつも人でいっぱいです。東山動物園にも4頭の象がいました。戦争が始まって運ぶことが出来なくなったので、木下サーカスから譲り受けたのです。マカニー、エルド、キーコ、アドン、4頭は曲芸をしていました。戦争はだんだんと激しくなり、動物園でもエサ不足が深刻になりました。象が毎日食べるワラも、燃料になってしまい集めるのが一苦労です。でも、それ以上の難関が動物園ではおきていました。全国の動物園に、猛獣を処分せよという命令が出されていたのです。そして、処分する猛獣の中には、象も含まれていました。上野動物園では、花子、ジョンが殺されました。猛獣を処分せよという再三の命令を断わり続けてきた東山動物園でも、ついに…。	平和関係	1992	80	○	字幕なし		人権推進 多文化共生課
市-007	ぞう列車がやってきた (アニメーション) ※パリアフリー版(副音声・字幕スーパー付)	戦争から象を守り抜いた人々の優しさと勇気を子どもたちの視点から描くとともに、夢も希望もなくなった戦後、「象を見たい」「象に会いたい」という東京の子どもたちが、平和の象徴として「ぞう列車」を走らせるまでを描く長編アニメーション。 【ものがたり】ポッポちゃん(5才)のお父さんは、名古屋の東山動物園の園長さんです。ポッポちゃんは、毎日サブちゃん(5年生)といっしょに動物園をぐるぐる回ります。動物園の動物は、みんなポッポちゃんとサブちゃんの友だちです。その頃、日本は、アメリカ・イギリスなど世界中の国を相手に戦争をしていました。でも動物園にはまだたくさん動物がいました。その中でも一番の人気者は増えます。増の櫛の周りはいつも人でいっぱいです。東山動物園にも4頭の象がいました。戦争が始まって運ぶことが出来なくなったので、木下サーカスから譲り受けたのです。マカニー、エルド、キーコ、アドン、4頭は曲芸をしていました。戦争はだんだんと激しくなり、動物園でもエサ不足が深刻になりました。象が毎日食べるワラも、燃料になってしまい集めるのが一苦労です。でも、それ以上の難関が動物園ではおきていました。全国の動物園に、猛獣を処分せよという命令が出されていたのです。そして、処分する猛獣の中には、象も含まれていました。上野動物園では、花子、ジョンが殺されました。猛獣を処分せよという再三の命令を断わり続けてきた東山動物園でも、ついに…。	平和関係	1992	80	○	○	○	人権推進 多文化共生課
市-008	つるにのって 「とも子の冒険」 ON A PAPER CRANE TOMOKO'S ADVENTURE	夏の日に広島原爆資料館を訪れたとも子の前に、ふしぎな少女サダコが現れる。サダコの案内でとも子のふしぎな冒険が始まる。 フランスで原爆の実相を紹介する運動をするミホ・シボさんの「核兵器廃絶の願いをアニメーションで世界の子どもたちに伝えよう」という考えから、1989年2月「世界の子どもに平和のアニメを贈るピース・アニメの会」が発足。その運動を通して完成したのがこの『つるにのって とも子の冒険』です。被爆した少女「サダコ」と友達になったとも子を通して原爆の悲惨さと平和への思いを描いた本作品は1995年には英語版・フランス語版を制作、これまでに世界65カ国以上で上映されました。主人公・とも子の声を「セーラームーン」月野うさぎの三石琴乃さん、主題歌を倍賞千恵子さんが担当しています。	平和関係	1993	27	○		○ 日本語 (聴覚障がい者用)	人権推進 多文化共生課
市-010	火垂るの墓 (アニメーション) ※劇場用映画	自らの体験をもとに書いた野坂昭如の同名小説を、アニメ映画化。戦争によって両親を失った幼い兄妹がたどる過酷な運命を描く。 父は出征で消息が知れず、空襲で母と家を亡くした兄妹が、親戚の家に引き取られるも邪魔者扱いされ、やがて防空壕に移り住み、ふたりきりで生きようとするのだが…。原作者・野坂昭如に「アニメ恐るべし」と言わしめた、高畑勲監督の傑作反戦アニメ。 4歳と14歳で、生きようと思った。昭和20年、神戸はB29の爆弾が降りそそぎあたり一面は焼け野原となった。母を亡くした幼い兄妹、清太と節子誰の力も借りず二人だけの生活を始める。つつましくも笑い声が溢れる生活。夏の夜の螢は、精一杯生きようとした二人の命の輝きでもあった。	平和関係	1998	88	○		○ 英語 日本語	人権推進 多文化共生課
市-011	しんちゃんのさんりんしゃ (アニメーション)	広島原爆資料館の赤さびた三輪車にまつわる実話をもとに作られた短編アニメーション。 戦争で使う武器のためにお寺の鐘も供出しなければならなかった時代です。三輪車なんて手に入らない時代でした。伸ちゃんがねだってねだって手に入れた三輪車は、おじさんのおフルでした。伸ちゃんと仲良しのきみちゃんは、昭和20年8月6日の朝も、三輪車に乗って楽しく遊んでいました。そして選考がきらめき、原子爆弾が爆破しました。伸ちゃんときみちゃんは三輪車で遊んでいるときに被爆して、死にました。広島市内で、たくさん命が奪われました。 被爆50周年映画	平和関係	1998	23	○			人権推進 多文化共生課
市-013	はとよひろしまの空を (アニメーション)	太平洋戦争末期。家族とかわいがってくれた飼い主の少年を原子爆弾で亡くし、一羽残された雌の小鳩。焼け野原となった町を必死で生き抜こうとした鳩の姿を通じて、改めて、命とは平和とは何かを問いかけます。	平和関係	1999	21	○			人権推進 多文化共生課
市-015	あした元気になるーれ! 半分のさつまいも (アニメーション)	震災孤児となったかよちゃんと、きい兄ちゃん兄妹が、終戦直後の貧困と不安の時代に、明るくたくましく生き抜いていく姿を丁寧に描いている。海老名香葉子さんの「半分のさつまいも」を原作として制作されたもの。	平和関係	2000	90	○			人権推進 多文化共生課
市-021	トビウオのぼうやはびょうきです (アニメーション)	1954年3月1日、太平洋の中にあるビキニ島で、アメリカが水素爆弾の実験をしました。この爆発で人間が病気になるたり死んでしまう。おそろしい灰がたくさんばらまかれました。近くでマグロをとっていた「第五福竜丸」という漁船もこの灰を浴びてしまい、23人が病気になるり久保山愛吉さんが亡くなりました。被害にあったのは人間だけではなく海の中にも壊され、たくさんのお魚たちも同じように病気になるり寝たきりになり死んでしまいました。”私たちは、この悲惨な出来事を絶対に忘れてはいけません。”という思いを込めて、いぬいとみこさんの童話を原作にアニメ映画にしたものです。	平和関係	2005	19	○			人権推進 多文化共生課
市-025	紙屋悦子の青春 ※劇場用映画	戦争に引き裂かれる恋と、庶民の日常を淡々と描く。主演は原田知世、共演は永瀬正敏ら。戦時下の青春、庶民の心情を体現する。食卓での団欒(だんらん)や夫婦げんか、お見合いの不器用な会話など何気ない日常描写を通し、戦争の不条理、無意味さを訴えかける。	平和関係	2006	111				人権推進 多文化共生課

No	タイトル	内容	ジャンル1	ジャンル2	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-055	ボクとガク あの夏のものごと (アニメーション)	小学5年生の希望(のぞみ)と岳(がく)は、近所の美代おばあさんと親しくなり、かつての友だちや地域、八幡大空襲のことを教わります。2人の子ともとおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権や、地域で育む人権文化に目を向け、「戦争と平和」についても描いている。 北九州市は平成22年2月10日「非核平和都市宣言」をしています。 ©北九州市人権啓発アニメーション(2009)	6	平和関係	2010	42	○			人権推進 多文化共生 課
市-093	涙に浮かぶ記憶 ～戦争を次世代に伝えて～	この作品は、「なぜ日本は戦争を止められなかったのか」その疑問を中学生3年の女の子が、戦争体験者の曾祖父から聞き出しながら戦争への拡大の足跡を資料映像で辿っていくものです。	6	平和関係	2017	28				人権推進 多文化共生 課
市-112	アゲハがとんだ —1945・3・10東京大空襲— (アニメーション)	この物語は、学童疎開先のだんなな情景から始まります。子ども同士の争いはあつたりしますが心の底では理解し合っており、絆が結ばれています。卒業式のために東京に戻った主人公たちは、3月10日の午前0時過ぎ、東京大空襲に見舞われます。前半の暖かい日差しのなかの情景と、後半の激しい空襲シーンがコントラストとして印象的に描かれます。	6	平和関係	2019	20	○			人権推進 多文化共生 課
市-12	よっちゃんのビー玉 (アニメーション)	実話をもとにした作品。広島で被爆死した4歳の少年の物語。この物語を通して、原爆の恐ろしさを子どもたちに語り継いでいきたい。	6	平和関係	1999	58	○			人権推進 多文化共生 課
市-036	外国人労働者問題から多民族共生を考える	企業と人権シリーズ第3弾 従業員の2割が中国人という日本企業を密着取材。研修・技能実習制度を利用した人材の育成・確保の実態をドキュメントしながら、利益追求というリアルな現実のなか、どう人権問題と真剣に向き合ってきたのか、中国ロケを交えながら描きます。さらに、労働者は生活者であるという視点から、その生の声や地域の支えにも触れていく。	7	外国人の人権	2007	32				人権推進 多文化共生 課
市-044	ホームタウン 朴英美のまち	本名を名乗り、看護師として前向きに生きようとする在日韓国人3世の姿を通して、学校や社会で経験する様々な葛藤を描く。名前や国籍の違いを認め合い、それぞれの生き方・考え方を大切に理解し合うことの必要性を学び、全ての人の人権が尊重される豊かな社会の実現について考える。	7	外国人の人権	2008	54				人権推進 多文化共生 課
市-088	外国人と人権 違いを認め、共に生きる ※字幕・副音声付き	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切に人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるのか。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶDVD。 ©平成28年度法務省委託人権啓発教材	7	外国人の人権	2016	33		○ 日本語 英語	○	人権推進 多文化共生 課
市-113	サラーマット ～あなたの言葉で～ ※字幕・副音声付き	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切に人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるのか。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶDVD。	7	外国人の人権	2019	36		○	○	人権推進 多文化共生 課
市-017	折り梅	それは、ある日突然、平和な家庭にふりかかった…。名古屋郊外のベッド・タウン、愛知県豊明市。サラリーマンの夫・裕三とパート勤めの妻・巴、中学生と小学生の子ども二人の4人家族に、夫の母・マサコが同居することになった。ところがまもなく、マサコが変調をきたし始め、病院でアルツハイマー型痴呆症と診断される。バラバラになる家族、とところがある日、マサコの中に眠っていた驚くべき才能が発見される…。崩壊しかけた家族が、思いがけない展開とさまざまな葛藤を経て見事に再生してゆく物語に、人間の無限の可能性が描かれる。 出演：原田美枝子、吉行和子、トミーズ雅、加藤登紀子他	8	高齢者の人権	2001	111				人権推進 多文化共生 課
市-028	老いを生きる ※日本語字幕付き	誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける。	8	高齢者の人権	2006	35		○		人権推進 多文化共生 課
市-045	夢のつづき (アニメーション)	家族の中で疎外感を抱く孤独なお年寄り、認知症を患う高齢者とその介護に疲れ果てた家族、無気力な毎日を送る若者ら…世代も立場も異なる人たちが、ふれあうことによって家族のきずなを深め、生きがいを感じられるようになっていく様子を描いている。	8	高齢者の人権	2008	40	○			人権推進 多文化共生 課
市-056	探梅 春、遠からじ (アニメーション)	それぞれの事情や過去を抱えた登場人物の交流を描きながら、お互いが支え合い、温かく見守りあう地域社会の大切さを語りかけていく。	8	高齢者の人権	2010	40	○			人権推進 多文化共生 課

No	タイトル	内容	ジャンル	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-083	ここから 歩き始める ※字幕・副音声付き	「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り返される介護をめぐる葛藤とさまざまな紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材。	8 高齢者の人権	2015	34		○	○	人権推進 多文化共生課
市-146	カンパニユラの夢 ©兵庫県人権啓発ビデオ(2020)	作品のテーマは、「超高齢化社会とひきこもり(8050問題)」です。近年、主に「80代」の高齢の親が「50代」のひきこもりが長期化した子を支えている家庭が増加しています。「8050問題」とは、こうした家庭が地域社会との接点を失い、親子ともども生活が困窮するなどの課題を抱え、将来への展望が見いだせない超高齢化社会における新たな社会問題のことです。急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることで認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	8 高齢者の人権	2020	36				人権推進 多文化共生課
市-046	職場の人権 —相手のきもちを考える— ※日本語字幕付き	社員相談室・新人相談員の佐藤が、様々な職場で起こるトラブルや悩みに関連することによって、“相手のきもち”を考えることはどういうことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てて描く。職場で身近に起こり得るパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルを描くことで、そこにある意識のズレと問題点を提示していく。	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2008	27		○		人権推進 多文化共生課
市-047	パワー・ハラスメント そのときあなたは…	職場において、権力関係にある者が本来の業務の範囲を超えた権力を行使し、就業者の働く環境を悪化させることを「パワー・ハラスメント」といいます。パワー・ハラスメント(パワハラ)は近年急激に増加しており、大きな社会問題となっています。パワハラによる精神疾患が労災認定されるようになり、個人的な問題としてではなく、組織の問題として認識されるようになりました。訴訟にいたるケースも増えています。経営者、管理職だけではなく、働くすべての人を対象にした研修に利用できます。 <内容> ●パワー・ハラスメントの基本的な解説●パワー・ハラスメントへの対応●被害者へのインタビュー●事例にもとづくドラマと解説●二次被害の基本的な解説	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2008	26				人権推進 多文化共生課
市-048	ワーク・ライフ・バランスを知っていますか? ～働くオトコたちの声～	ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っていますか?それは「仕事」と「生活」を調和させるライフスタイルのこと。家庭や会社など私たちの身近なところで、すでに取り組みが始まっています。このDVDでは、ワーク・ライフ・バランス社会の実現を目指す企業や、仕事と家庭の理想的なバランスを実践する人々の姿をドキュメンタリータッチで紹介しています。 ©男女共同参画局制作	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2008	50				人権推進 多文化共生課
市-064	職場の日常から考えるパワーハラスメント	この作品は、ある会社で起こる様々な問題を一本のドラマで描いていますが、暴力や暴言といった従来型のパワハラは取り上げていません。むしろパワハラなのかそうでないのか、線引きが難しい事例を中心に描いています。より働きやすい職場をつくるために、働く人一人ひとりが、それぞれの立場から「職場のパワーハラスメント」をなくすためにどうすればいいか、学ぶ作品です。	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2012	28				人権推進 多文化共生課
市-094	コール&レスポンス ～ハラスメント～ ※字幕・副音声付き	ハラスメントを防ぐことは人権尊重の上で重要な課題です。そのためには十分なコミュニケーションを取ると同時に、相手が言いにくい立場にいる場合は、相手の心を十分に推し量り、思いを聞いてみる事が大切です。この作品では、職場におけるコミュニケーションの重要性を、「コール&レスポンス」というキーワードに仮託して考えていきます。	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2017	24		○	○	人権推進 多文化共生課
市-095	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会 ※字幕・副音声付き	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。このDVDは、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成しています。	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2017	40		○	○	人権推進 多文化共生課
市-123	日頃の言動から考える 職場のハラスメント ※字幕・副音声付き	職場において、日頃の何気ない言動がハラスメントにつながる場合があります。誰もがハラスメントの被害者にも加害者にもなり得るのです。ハラスメントを防ぐためには、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。 職場で起こりがちなハラスメントやそのグレーゾーンについて、様々な事例をもとに考え方のポイントを解説し、ハラスメントが起こりにくい職場環境作りについて自分事として考えることができる教材です。 【監修】成蹊大学法学部教授 原昌登	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2021	29				人権推進 多文化共生課
市-132	アンコンシャス・バイアスをなくそう 無意識の偏見のない誰もが安心して働ける職場をめざして	アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の偏見、思い込み」のことです。近年、多様性の理解を進め、ハラスメント防止に欠かせないキーワードとして注目されています。本作品は、一般向けにアンコンシャス・バイアスを取り除くためにできることは何か、そのポイント等について紹介しています。	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2022	33		○		人権推進 多文化共生課
市-142	ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見 (アンコンシャス・バイアス) ※字幕・副音声付き	職場のコミュニケーション向上のヒント 「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っている、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。この教材は、登場人物の視点や立場が変化する構成によって無意識の偏見が見える化し、どのようにバイアスと向き合っていくかを自分ごととして考えることができる内容になっています。自覚なくハラスメントの加害者にならないため…。	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2023	24		○	○	人権推進 多文化共生課
市-153	「無自覚」に気付く! ～誰もが当事者 職場のハラスメント～ ※字幕・副音声付き	職場の力を育む人権シリーズ 人権啓発推進 映像教材 職場でのハラスメントは誰もが当事者になる可能性があります。「自分には関係ない」「自分は大丈夫」という思い込みが、ハラスメントの原因になることがあります。 本作は、近年多発している事例を取り上げ、年齢・性別・立場もさまざまな人物を描くことで、自身の日頃の言動を顧みることを促すドラマ教材です。 ■【解説書】と【ワークシート】を下記リンクよりダウンロードいただけます。 https://www.toei.co.jp/entertainment/education/pdf/muzikakunikizuku_kaisetsu.pdf	9 職場等における人権(セクハラ、パワハラ等)	2025	25		○	○	人権推進 多文化共生課

No	タイトル	内容	ジャンル1	ジャンル2	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-078	あなたがあなたらしく生きるために	性的マイノリティと人権 性的マイノリティについて、人権の視点で理解を深めるための作品。入門編として活用ください。 〈作品監修 宝塚大学看護学部教授 日高 庸晴〉	10	性的マイノリティ	2014	34				人権推進 多文化共生課
市-079	あなたがあなたらしく生きるために	性的マイノリティと人権 性的マイノリティについて、人権の視点で理解を深めるための作品。入門編として活用ください。 〈作品監修 宝塚大学看護学部教授 日高 庸晴〉	10	性的マイノリティ	2014	34				人権推進 多文化共生課
市-096	岸本誠の目からウロコのLGBT基礎講座 ※字幕付き	リアルな体験例を下に、LGBTの基礎の基礎から現状、さらには「これから」を分かりやすく丁寧に解説しています。いま、求められる最新・最適・最強のテキストです。	10	性的マイノリティ	2017	32		○		人権推進 多文化共生課
市-097	ハラスメント 見過ごしていませんか 性的少数者(LGBT)へのセクシュアルハラスメント	性について考えるとき、単純に「男性/女性」だけではなく、様々な切り口があります。男性だと思う人、女性だと思う人、中性だと思う人、性別は決めたくないという人など様々なあり方があります。性的マイノリティといっても、決してひとくくりにはできません。本当に様々な「人生」があり、その問題もニーズも様々です。性的マイノリティの問題は、テレビの中の話でも外国の話でもありません。誰もがどこかで関わりがある、家族、親戚、友人、同僚の話なのです。このDVDでは、職場における性的少数者に対するセクシュアルハラスメントについて考えます。	10	性的マイノリティ	2017	29		○		人権推進 多文化共生課
市-114	パパは女子高生だった！ ～前田 良～	LGBTシリーズ 女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子をもつ父親となった前田良(37)。一審、二審で敗訴しながら、最高裁で勝訴、日本で初めて戸籍上で実子と認めさせた。 ●「野球少女？」だった赤い服が嫌い、スカートを履くのがイヤ、女の子が好き、・・・そして初潮に傷つく。男の子として生きたいと強く願った。●「愛の二人三脚」ビビッ!と来た出会いから結婚、出産。二人三脚で闘った長い裁判を通して 多くの得難い友人たちも得たと言う。●「絶賛発売中!」文:前田良 文・画:前田あき…自らの直球人生を赤裸々に描いた「パパは女子高生だった」を出版。妻が絵を担当、夫婦の愛の証だ。	10	性的マイノリティ	2019	28				人権推進 多文化共生課
市-115	これが私の生きる道 ～仲間しゅん～	LGBTシリーズ 事務所内図書館～多様性を大切にしたい!本棚にはLGBTや部落問題の他、子どもの絵本、姉妹の写真集まで多彩に。 見よ!このしなやかさ～「先生」はイヤ、「しゅんちゃん」でいい、明け透けな気性に加えて美の探究者。柔軟な肉体は、しなやかな精神を表す。マイノリティの力に～弁護士になった理由は、周りのマイノリティ当事者たちの力になりたいと思ったこと、法律という戦うための武器を手に入れること。	10	性的マイノリティ	2019	30		○		人権推進 多文化共生課
市-116	①危機管理としての授業の必要性 ※教員向け映像教材 ※バリアフリー字幕版選択可	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 小学校・中学校の教科書に性的指向と性自認の多様性についての記載が盛り込まれ、学校教育で性的指向と性自認の多様性を理解する取組が始まっています。しかしながら、LGBTsの年齢期におけるいじめ被害、自傷行為の高さが国内外の研究で示されており、教育現場は危機管理の一環としてこの問題を捉え、現状を十分認識した上での取組をしなければなりません。 本巻では、LGBTsに関する授業の実現を目指し、学校としてできることを模索していく一人の教師の姿を描きます。取組に抵抗する同僚など実際の教育現場で起こりうる様々な困難も描き、その解決策を考え、問題が起こりつとも一歩前に進めるための多くのヒントを得ることができます。	10	性的マイノリティ	2020	38				人権推進 多文化共生課
市-117	②当事者に寄り添うために ～教育現場での落とし穴～ ※バリアフリー字幕版選択可	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ※教員向け映像教材 実際の教育現場にLGBTsの児童生徒は一定多数存在しているのにも関わらず、実際にその当事者と対応経験のある教員は多くありません。当事者の多くは、誰にも話すことが出来ずにいる場合が多く、葛藤や苦悩を抱えることが少なくありません。最大限の想像力を持ち、こういった状況への配慮が求められます。 この間ではLGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意すべき心得や、学校での取り組みや授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介し、教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。	10	性的マイノリティ	2020	38				人権推進 多文化共生課
市-118	令和2年度 職員人権研修 (2020/12/14) ※DVD-R	令和2年度職員人権研修録画DVD(市職員の「多様な性」に対する理解を深め、人権意識の高揚を図る機会とする。) 令和2年(2020)12月14日(月)16:00～17:15 川西市役所7階大会議室 ・綿巻 秀樹さん(隣保館相談指導員、川西人権協副会長、元川西北小学校長) ・おおもり みちよさん(「レインボー・ツリー」代表、「セクマイ相談・学習会」相談員、LGBTQ当事者)	10	性的マイノリティ	2020	60				人権推進 多文化共生課
市-119	はじめて学ぶLGBTs ① 男らしい色?女らしい色? ※字幕・副音声付き	アニメーションにより描かれた色鉛筆と人間との物語を通して、思い込みや偏見に捉われることの無意味さに気づき、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を育てます。 ※低～中学年向け	10	性的マイノリティ	2020	12		○	○	人権推進 多文化共生課
市-124	映像で学ぶジェンダー入門 ①男らしさ/女らしさ ～社会を覆うジェンダー・ステレオタイプ～	男らしさ、女らしさといった考え方は人の無意識に存在します。そうした考え方はしばしばステレオタイプ化し、多くの弊害をもたらします。「スイーツ男子」といった言葉の裏にどのような性別の固定観念が潜んでいるのか、また、教育の場においてそうした固定観念はどのような影響をもたらしているのか、ジェンダー・ステレオタイプを取り巻く多くの事例について考えます。また、フェミニズムやバックラッシュといったジェンダーを考えるうえで重要な事柄についても学びながら、様々な事例から身近なところにひそむ性別役割規範について考え、現代の社会における課題について考えます。 【監修】加藤秀一(明治学院大学教授)	10	性的マイノリティ	2021	約40				人権推進 多文化共生課
市-125	映像で学ぶジェンダー入門 ②多様な「性」	ひと言に「性」と言ってもそのあり方は非常に多様です。日本の社会において、「男」か「女」いずれかの性別に割り振られ生活することが前提となっています。この巻では性自認、性役割、性的指向といったジェンダー学における「性」の考え方について学び、性のあり方の多用途性について様々な事例をもとに考えます。また、LGBTをはじめとした性的マイノリティの存在、その当事者の抱える生きにくさなどの様々な問題についても触れ、多様な「性」を認める社会を作るうえで直面する多くの課題について考えます。 【監修】加藤秀一(明治学院大学教授)	10	性的マイノリティ	2021	約40				人権推進 多文化共生課

No	タイトル	内容	ジャンル	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-133	パースデイ ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」 この物語の主人公・美由紀は、娘だと思ってきた笑花(尊)から自認する性が男性であることを告げられ、激しく動揺します。親としての感情ゆえに、はじめは拒絶する美由紀ですが、周囲の人々との交流などにより、性の多様性について少しずつ理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていくとします。	10 性的マイノリティ	2022	37		○	○	人権推進 多文化共生課
市-134	「レインボーストーリーズ」LGBTと社会 ①職場 ～声に出せないハラスメント～	社会人が生活の中で多くの時間を過ごす職場。ここでは無自覚に発せられる言葉がLGBTs当事者を傷つけ、勤労意欲を低下させたり、メンタルヘルスを悪化させる原因にもなります。そうしたハラスメントをはじめ、トランスジェンダーが直面する就職活動の困難や情報管理の甘さから起こる無自覚なアウティング、制服規程や同性パートナーを認める社内規程整備の必要性など、職場で起こりうる様々な事例を描き、その課題に取り組むためのヒントを示します。 ●「レインボーストーリーズ」LGBTと社会(全4巻のうちの2巻)	10 性的マイノリティ	2022	約25				人権推進 多文化共生課
市-135	「レインボーストーリーズ」LGBTと社会 ②家族 ～自分の子どもが当事者だったら～	同じ家に住み生活を共にする家族。最も近い存在だからこそ、本当のことが言えず苦しんでいるLGBTsの人々は数多くいます。子どもからカミングアウトを受けた場合、親は前向きに受け入れられるのか。この明暗を分けるのは、わが子との関係性、性的指向や性自認の多様性への理解、そしてLGBTsが身近に存在するというリアリティではないでしょうか。本巻では、性の多様性に関して実感を持った理解がない親が、ゲイである青年期の息子を追い詰めてしまう様子、親子が葛藤しながら関係を再構築する姿を描きます。 ●「レインボーストーリーズ」LGBTと社会(全4巻のうちの2巻)	10 性的マイノリティ	2022	約21				人権推進 多文化共生課
市-136	「レインボーストーリーズ」LGBTと医療 ①患者とのコミュニケーション	医療や看護に携わる専門家にも性の多様性への理解が求められますが、LGBTsのいずれかであると明確にわかったうえで診療経験はない、という医療従事者も多くおられるでしょう。本来、性的指向や性自認をカミングアウトするかしないかを決めるのはご本人の意思によるものですが、医療現場ではそういったプライベートな情報に接することも少なからずあり、医療従事者ひとりひとりが性の多様性について正しい知識と認識を持った上で、専門職として患者と接することが求められます。 この巻では同性愛者や性別違和を持つ患者とのコミュニケーションにおける注意点をドラマで描きます。先輩看護師とのOJT(On the Job Training)のドラマを通して、無自覚に発せられた言葉が相手を傷つけていないかを考えます。●「レインボーストーリーズ」LGBTと医療(全2巻のうちの1巻)	10 性的マイノリティ	2022	約21				人権推進 多文化共生課
市-143	ゲイ夫夫(ふうふう)の結婚相談所 ～田邊義宗 新井智尊～	ずっとゲイを隠し続けてきた二人は、2020年にお見合いし、すぐに意気投合、今では一緒に暮らし共に活動する、最高で最良のパートナーとなった。2021年、神戸に、ゲイに特化した当事者による日本初の結婚相談所を開設。早速、新聞やテレビが取り上げた。二人で作るYouTubeラジオ番組も好評で、LGBTQ+全般にも対応する相談所開設にもつながった。学校・行政・企業などでの講演、兵庫県では初めてのLGBTのフェスティバル・神戸レインボーフェスタの開催など、様々な活動を精力的に展開している。二人の思いは一つ。パートナーシップ制の先にある同性婚の法的な成立だ。片方が入院した時、また、亡くなった時、残された方はどうすればいいの？好きな人と安心して暮らす。二人は誰もが願う幸せの実現に向けて突っ走る。	10 性的マイノリティ	2023	27		○		人権推進 多文化共生課
市-057	あの空の向こうに ※字幕・副音声付き	ケータイやインターネット等の利用にあたっての人権意識の重要性や、人と人とのふれ合い、語り合いの大切さを訴え、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割にも気付かせる。	11 インターネットによる人権侵害	2010	38		○	○	人権推進 多文化共生課
市-090	インターネットと人権 (加害者にも被害者にならないために)	インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものだ。本作品は、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用方法・対策についてわかりやすくまとめたDVD。	11 インターネットによる人権侵害	2016	30				人権推進 多文化共生課
市-126	いわれなき誹謗中傷との闘い スマイリーキクチと考えるインターネットにおける人権	ネットでの誹謗中傷やデマが、たいへん大きな問題となっています。ネット上の誹謗中傷により、命まで落とす人もいますし、社会的にたいへん大きなダメージをうけることもあります。この作品では、根拠のない誹謗中傷により、20年以上にもわたって大きな被害を受け、現在にいたるまで誹謗中傷を受け続けながらも、誹謗中傷と闘い、乗り越えていく経験をお持ちのスマイリーキクチさんに出演いただき、ネットの誹謗中傷の現実と対策、そして人権的な課題について、実際の事例をもとに考えるものです。	11 インターネットによる人権侵害	2021	20		○	○	人権推進 多文化共生課
市-018	人間回復の橋、心のかけ橋となれ	①ハンセン病療養所 語り部証言集 長島愛生園語り部証言 ②人間回復の橋、心のかけ橋となれ ～ハンセン病を正しく理解するために～ ハンセン病が医学の進歩で「治癒する病」になってから久しい。長島愛生園、邑久光明園の入園者が待ち望んだ「人間回復」の象徴・邑久長島大橋が島と本土を結んだ。1世紀にわたり患者やその家族を苦しめてきた「らい予防法」は廃止され、国がかつての隔離政策の過ちを認めた。残る課題は、ハンセン病を正しく理解することで、人々の心に残る偏見や差別をなくすことである。「ハンセン病の正しい理解を進める普及啓発事業実行委員会」制作の普及啓発DVD平成14年度 日本産業映画・ビデオコンクール 公共団体部門奨励賞受賞作品。	12 病気と人権(ハンセン病、コロナ等)	2002	①90 ②29				人権推進 多文化共生課
市-029	今を生きる (ハンセン病)	10歳でハンセン病を発病し、岡山県国立療養所長島愛生園に隔離された石田雅男さんの人生を通して、ハンセン病強制隔離の「歴史と今」を学び、ハンセン病について正しく理解し、社会に残っている偏見や差別をなくしていくとしようとする心を育むドキュメンタリー。	12 病気と人権(ハンセン病、コロナ等)	2006	49				人権推進 多文化共生課
市-065	こころの病と向き合う ※字幕版付き	現代社会と人権シリーズ うつ病や統合失調症など心の病は、誰でもかかる可能性のある病気です。しかし、こうした病気に対する偏見はまだまだに根強いものがあります。この作品は、心の病に罹患した人々や周囲の人々の日常をドキュメントし、心の病に対する偏見について問い直し、人権について考えていきます。 ■誰にでも潜む「心の病」とは？■入院医療の最前線■拒害と偏見、問われるメディアの在り方■患者を支える家族の思い、そして地域コミュニティ■患者にとつての「就労」 ーたとえ病気や障害があっても、人は幸せに生きる権利があります。社会を生きる仲間として接していきながら、一人ひとりが正しい知識を身につけましょう。ー	12 病気と人権(ハンセン病、コロナ等)	2012	25		○		人権推進 多文化共生課
市-066	ハンセン病とは? (ハンセン病を正しく理解するために)	兵庫県健康福祉部疾病対策課企画の、ハンセン病問題に対する正しい知識の普及啓発のために作成されたハンセン病問題啓発DVD。	12 病気と人権(ハンセン病、コロナ等)	2012	30				人権推進 多文化共生課

No	タイトル	内容	ジャンル1	ジャンル2	制作年	所要時間(分)	アニメーション	字幕	副音声	所管
市-084	人権アーカイブ・シリーズ ①ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来への提言～ ②家族で考えるハンセン病	平成27年度 法務省委託 人権啓発教材 人権アーカイブ・シリーズ ハンセン病に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心にわかりやすく簡潔にまとめられています。人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を分かりやすく簡潔にまとめた「ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来への提言～」(56分)と一般市民を対象とした、「家族で考えるハンセン病」(20分)の2つの映像作品から成り立っている。 ①は人権教育・啓発担当者向け。証言集付き②は一般向け。活用の手引き付き 法務省ホームページ 人権啓発コンテンツ「ハンセン病患者・元患者やその家族」 https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken96.html#9 のページからYouTubeでご覧になれます	12	病気と人権 (ハンセン病、コロナ等)	2015	①56 ②20		○ 日本語 英語	○	人権推進 多文化共生課
市-085	こんにちは 金泰九(キムテグ)さん ハンセン病問題から学んだこと	第33回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞受賞作品「No! 言える強い心をもつ～ハンセン病から学んだこと～」をもとに映像化。作文の作者と金さんとの交流も紹介するとともに、かつてハンセン病を患った人たちが、ご家族への人権侵害の歴史を二度と繰り返さないように強く訴えかけます。	12	病気と人権 (ハンセン病、コロナ等)	2015	25				人権推進 多文化共生課
市-098	弐雄二 ハンセン病とともに生きる 熊笹の尾根の生涯	国のハンセン病隔離政策の誤りを指摘し、今も根強く残るハンセン病の元患者らに対する偏見・差別と闘い続けてきた詩人・弐雄二(こだまゆうじ)さんの生涯が描かれています。この作品を通して、あらゆる差別をなくし、人権を守る努力をして欲しいとの思いと、そのことを考えるための重要なメッセージを投げかけています。 「病むならば 豪壮に病もう。根がざり 生命の火をかきたて その火で苦痛を燃やせ。めそめそなんかはしないぞ。突き叫ぶ苦痛の火柱を創造れ。……病むならば 豪壮に病もう。もうぜったいに くよくよなんかはしないぞ。『詩集・鬼の顔:病むならば』」 ハンセン病の強制隔離政策に抗い人権回復を訴え続け、ハンセン病差別撤廃運動の先駆者として生きた詩人の生涯を描く。	12	病気と人権 (ハンセン病、コロナ等)	2017	43				人権推進 多文化共生課
市-120	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～ ※字幕・副音声付き	令和2年度 法務省委託 人権啓発動画 隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。	12	病気と人権 (ハンセン病、コロナ等)	2020	35		○	○	人権推進 多文化共生課
市-127	君が笑っていた —ソーシャルディスタンスの罫—	新型コロナ感染は、感染者、その家族・親族や、病院関係者への誹謗中傷・差別を生みました。単身・シングルマザー世帯などすでに経済的に逼迫していた人々に加え、学生・一般世帯の人々をも厳しい生活状況へ追い込んでいます。本作は、急激に姿を変える社会の現実を通じ、差別やいじめのない社会とは何かを語り合う作品です。 全編視聴と前編「問題提起」・後編「解決へ向けて」各10分程度の視聴が選べます。	12	病気と人権 (ハンセン病、コロナ等)	2021	23				人権推進 多文化共生課